

1. 科目名 (単位数)	こどもの音楽Ⅱ (2単位)	3. 科目番号	JNNT2513
2. 授業担当教員	本野 洋子		
4. 授業形態	講義、実技	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・他科目との関係	「こどもの音楽Ⅰ」を履修済みであること。		
7. 講義概要	音楽基礎Ⅰ・音楽基礎Ⅱ・こどもの音楽Ⅰで身に付けた演奏技術を更に向上させ、保育士および幼稚園教諭に必要とされるレベルまで到達させる。子どもの歌の特徴を熟知し、保育の音楽活動において適切に指導できる力をつける。		
8. 学習目標	1. ピアノ演奏および弾き歌いの技術を向上させる。 2. 歌からリズム遊び、楽器遊び、合奏に発展させる力をつける。		
9. アサイメント(宿題)及びレポート課題	①ピアノ：課題曲を次週までによく練習しておくこと。 ②こどもの歌、手遊び歌、リズム活動を主とした遊び歌等のレパートリーを増やす。 ③コードネーム等授業内で課された理論課題を実施し、提出すること。 適宜に「弾き歌い」、「手遊び歌」、「アンサンブル」等の発表を行う。		
10. 教科書・参考書・教材	<b>【教科書】</b> ・1年次で使用した教科書を継続使用する。 ・上記の教科書以外に必要な楽譜等は、授業内でプリントにして配布予定。 <b>【参考書】</b> ・池田富造 著『幼児の楽器遊びと楽しい合奏 - 器楽/合奏/鼓隊の指導』ひかりのくに、1978。 ・木許 隆・高橋 一行・三縄 公一・高倉 秋子 著『保育者のためのリズム遊び 幼児・小学校低学年の器楽指導』音楽之友社、2008。 <b>【教材】</b> ※各自で必ず購入しておくこと。 ・五線紙、五線ノート(授業初回時に説明) ・ヘッドフォン ・6.3mmジャック(先端が3.5mmジャックの場合、ステレオ変換ジャックが必要)		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 1. ピアノ演奏および弾き歌いの技術を向上させたか。 2. こどもの歌をアレンジし、リズム遊び、楽器遊び、合奏に発展させる力をつけたか。 ○評定の方法 1. 弾き歌いの発表 総合点の40% 2. 授業への取り組み 総合点の30% 3. 提出物 総合点の20% 4. グループ発表 総合点の10% 1から4を総合的に判断して評価する。		
12. 受講生へのメッセージ	この授業では、特に『音楽基礎Ⅰ・Ⅱ』『こどもの音楽Ⅰ』を修了した皆さんが、実習や就職後の実践力の育成を視野に、さらに高度なテクニックを身に付けていくために、単に器楽の演奏技術だけを向上させるのではなく、進んでそれらのテクニックを応用して指導していく技術を学ぶことを目的としています。従って自主的で積極的な授業への参加を望んでいます。また、「こどもの音楽Ⅰ」において、十分に音楽的技術を習得できなかったと自覚する皆さんは、是非この授業で、ピアノの弾き歌いや指導法の技術を高めてほしいと願っています。		
13. オフィスアワー	授業時に通知。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	オリエンテーション シラバス説明、授業概要 経験値に応じた課題曲選曲	事前学習	弾き歌いできるようになった子どもの歌の練習。
		事後学習	オリエンテーションで指導されたことの復習。
第2回	音楽理論①マイナーコードについて 子どもの歌唱、発声について① ピアノ演奏及び弾き歌いレッスン①	事前学習	課題曲の練習。
		事後学習	レッスンの復習。子供の歌唱について復習。
第3回	音楽理論②長調の中のマイナーコード 子どもの歌唱、発声について②子どもの音域について ピアノ演奏及び弾き歌いレッスン②	事前学習	課題曲の練習。
		事後学習	レッスンの復習。子どもの音域について復習。
第4回	音楽理論③長調と短調 子どもの歌唱、発声について③子どもにとって歌いやすい音域の曲について ピアノ演奏及び弾き歌いレッスン③	事前学習	課題曲の練習。
		事後学習	レッスンの復習。長調、短調の復習。
第5回	ピアノ弾き歌い発表 現場を想定した演奏とは 弾き歌い発表の振り返り	事前学習	課題発表曲の練習。音楽の流れを意識しながらしっかり歌って弾けるようにする。
		事後学習	課題発表曲の復習。発表を振り返る。
第6回	子どもの年齢に応じた歌唱活動について実践映像を鑑賞し、各自の感想・意見などをディスカッションし、レポートを作成する。 ピアノ演奏及び弾き歌いレッスン④	事前学習	課題曲の練習。レポート作成の準備。
		事後学習	レッスンの復習。ディスカッションの内容を振り返る。
第7回	子どもの行事における歌唱活動について実践映像を鑑賞し、各自の感想・意見などをディスカッションし、レポートを作成する。	事前学習	課題曲の練習。レポート作成の準備。
		事後学習	レッスンの復習。ディスカッションの内容を振り返る。

	ピアノ演奏及び弾き歌いレッスン⑤		
第8回	子どもの自由な表現とは何か。歌唱を通じた表現について考える。各自の感想・意見などをディスカッションし、レポートを作成する。 ピアノ演奏及び弾き歌いレッスン⑥	事前学習	課題曲の練習。レポート作成の準備。
		事後学習	レッスンの復習。ディスカッションの内容を振り返る。
第9回	音楽理論⑤コードネームの復習 ピアノ演奏及び弾き歌いレッスン⑦	事前学習	課題曲の練習。
		事後学習	レッスンの復習。コードネームの復習。
第10回	音楽理論⑥コードネームを見て伴奏譜を作成 ピアノ演奏及び弾き歌いレッスン⑧	事前学習	課題曲の練習。伴奏譜の作成。
		事後学習	課題発表曲の復習。伴奏譜について復習。
第11回	ピアノ演奏及び弾き歌いレッスン⑨ 手作り楽器の作成①子どもにとって「奏でる」とは 手作り楽器のポイントを説明。各学生が与えられた素材をどう工夫して音に出していくかを考える。総合的な音楽表現活動へ	事前学習	課題曲の練習。手作り楽器作成の準備。
		事後学習	レッスンの復習。総合的な音楽表現活動について復習。
第12回	ピアノ演奏及び弾き歌いレッスン⑩ 手作り楽器の作成、および指導法② 手作り楽器の制作およびそれらの楽器を使ったパフォーマンスを考える 総合的な音楽表現活動①	事前学習	課題曲の練習。音楽表現活動に必要な準備。手作り楽器を完成させる。
		事後学習	レッスンの復習。表現活動について復習。
第13回	音楽理論⑦自分でコードネームを考え楽譜を作成する ピアノ演奏及び弾き歌いレッスン⑪課題発表曲の準備 手作り楽器を用いたリズム遊び それぞれが制作した楽器を使い、歌や身体活動を伴う小さなパフォーマンスを考える。総合的な音楽表現活動②	事前学習	課題曲の練習。曲想を考えてしっかり歌いながら演奏する。
		事後学習	レッスンの復習、課題曲の練習。リズム遊びについて復習。
第14回	音楽理論⑧コードネームのまとめ ピアノ演奏及び弾き歌いレッスン⑫課題発表曲の準備 総合的な音楽表現活動③	事前学習	課題曲の練習。
		事後学習	課題曲の復習。表現活動について復習。コードネーム譜を作成する。
第15回	ピアノ演奏及び弾き歌い発表 発表の振り返りレポート作成・提出 学生による授業評価	事前学習	課題発表曲の練習。音楽の流れを止めず曲想を考えてしっかり歌いながら演奏できるようにする。
		事後学習	保育現場における音楽活動、子どもの歌についてのまとめの復習。発表を振り返り、卒業後について、授業がなくなっても続けていけるよう今後の学習計画を立てる。